

平成 27 年度
事業報告及び附属明細書



事業報告及び附属明細書

事業実施報告

I 概 要

平成 27 年度は、第一次中期運営計画の 2 年目の取組みを着実に進めることを基本に、「健康長寿やまがたの実現」に向けて事業を開展した。

公益事業の柱の一つである「広報・普及啓発事業」では、第 6 回の開催となった健康啓発イベント「みんなで広げよう！健康の輪 2015」を 9 月に山形市内で開催するなど、県民の皆様に対して、がん予防や検診の重要性等の健康情報の発信を行った。

「検診事業」では、4 月から子宮頸がん検診に H P V 併用検診を導入、12 月から法改正に伴う事業所等のストレスチェックの受託の開始、次年度からの導入を目指し D X A 法による骨密度検査の環境整備、また、関心が高まっている乳がん検診について、冬季からイブニング検診を開始した。更に、検診機関としては全国の先駆けとなる庄内地域の医療情報ネットワークに加入するとともに、胃呼吸器併用検診車 2 台、デジタル乳房撮影装置等の整備更新を行った。

「運営面」では、3 事業年度連続で経常収益の増を確保したものの、事業収入では、胃がん検診の減少に歯止めがかからず、主要な収益の一つである人間ドックについてもその伸びがわずかになるなど、収入の伸びの鈍化傾向が続いている。一方、事業費用では、平成 20 年度台前半に職員給与、退職給付費用等の人事費を大きく増加させており、事業収入の 6 割を占める人事費の管理は、当法人の今後の長期安定的な事業継続に向けての大きな課題となっている。

また、退職給与引当金の積立てについては、これまで投資信託によるリスクの高い運用を行ってきたが、これを解約するとともに、職員の退職金を原資とした退職年金制度を廃止し、退職一時金に統一した。更に、将来の検診センターの建替えのための新たな資金の積立を開始した。

なお、厚生労働省のがん検診の指針等の改正により、今後、事業収益が大きく減少することが見込まれ、当法人としても、これまでにない徹底した費用の抑制と事業収益の拡大を図る必要がある。

事業の詳細は、以下のとおりである。

II 各種事業

■ 施策 1

広報・啓発事業の推進

①テレビ、新聞等によるCMの実施

【実績】

- ・新聞4紙（7回）に各イベントやキャンペーンの周知広報にあわせ受診勧奨を掲載。

掲載月	掲載数	内容
5月	1回	「世界禁煙デー」にあわせ、周知及び検診受診を呼びかけた。
9月	4回	「がん征圧月間、結核予防週間」の周知及び検診受診を広く呼びかけた。 (置賜管内2市3町の広報誌にも掲載)
10月	1回	「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」にあわせ、知識啓発と検診受診を呼びかけた。
11月	1回	「やまがた健康フェア2015」の周知及び検診受診を広く呼びかけた。

【評価と課題】

△一部達成

- ・毎事業年度同様の新聞広告の掲載となりがちであり、費用対効果や掲載内容等を十分検討し、必要性も含め検討。
- ・メディアを活用した広報啓発活動全般については、従来に捉われない広報等、訴える対象を明確にする等、今後の方針や具体策を整理し検討。

②県民参加型普及啓発イベントの企画、実施

【実績】

- ・啓発イベントへの参加企画は、以下のとおり

開催月	開催イベントと実施概要
8月	リレーフォーライフジャパン2015鶴岡(第1回) 鶴岡公園疎林広場で2日間開催、県内初開催に向け実行委員として参画した。職員協力は10名。
9月	みんなで広げよう！健康の輪2015(第6回) 市町村、関係団体等の後援を48団体に拡大、配布チラシ20,000枚を作成等事前の広報活動に力を入れた。山形交響楽団ファミリーコンサート、健康ミニセミナー、協力展示ブース等 延べ参加者数979名
10月	やまがたピンクリボンフェスタ2015(第9回) やまがたピンクリボン運動に実行委員として参画。同フェスタを山形テルサ主会場とし開催、約400人が参加、職員協力は31名。
11月	やまがた健康フェア（県主催）(第2回) 山形ビッグウイングで開催、2日間で約1万2千名参加となる全県的なイベントに実行委員として参画。職員協力者延べ14名、骨密度測定272名実施、がん検診無料クーポン予宮がん検診19名、乳がん検診38名に配付。

【評価と課題】

○達成

- ・多数の関係団体が参画し、様々なアイデアを企画実施、各イベント内容とも好評。
- ・イベントの在り方検討として、「みんなで広げよう健康の輪」の今後のあり方について内部協議をしたものの方針の決定まで至らなかった。
今後、全県的イベントで集客数の多い「やまがた健康フェア」への参画拡充に向け内容を検討。

③児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進

【実績】

- ・防煙教育用パンフレット「タバコと健康」等を県内中学101校の1年生約10,800名全員に配布。また、3年目の区切りとして、パンフの利用方法等についてアンケート調査を11月に実施。
- ・がん教育の推進では、関係団体（支部等）のモデルを調査し、県教育庁との打合せの機会を得たが未調整。

【評価と課題】

△一部達成

- ・防煙教育用パンフレット利用アンケートの結果各学校の教育資材として必要とされること等、配布の継続の方向性を確認できた。この調査内容を踏まえ、県教育庁と継続実施内容を整理し調整。
- ・県としては、「がんの教育総合支援事業」のモデル事業に手を挙げた都道府県や市町の報告を調査開始の段階であり、実施に向けては未調整。
- ・がん教育は、先進県モデルの調査や文科省の動向を調査。今後は関係者の機運醸成の方向に事業を推進する必要があると考え、当法人としてがん教育に関わる後方支援の方策練直しを検討。

④健康情報誌、ポスター等の作成、配布

【実績】

- ・機関紙「しあわせ」を年2回（9月号と3月号）各5,000部発行、自治体、事業所等に配布する等で健康情報を発信。
- ・がん征圧月間、結核予防週間のポスターを各1,100部を自治体や学校等に配布、米沢市内循環バス内及びフラー長井線の宮内・荒砥駅舎に掲示等し周知啓発。
- ・各種パンフレット配付等は、「タバコと健康」のパンフを置賜管内医院待合室に3,050部を配布する等、118箇所・63,700部を提供、他に各種健康パンフを4種・9,000部を配布。
- ・新しい媒体（SNS）による広報は、6月にフェイスブックを稼働、検診情報、イベント案内、健康レシピ紹介等38回を掲示。

【評価と課題】

○達成

- ・機関紙は、活用でき必要とされる健康情報内容に改善したが、効果的な場所への配付・設置を実施するまでには至らなかった。今後は、ポスターの掲示拡大を含め検討実施。
- ・フェイスブックは、定期掲載し多くの好評価を得た。今後は、検診風景や各センターからの多岐な情報を掲示する等検討実施。

⑤研修会、講習会等の開催と職員の派遣

【実績】

- ・市町村及び事業所向け研修会は、以下のとおり

山形	健康推進担当課長等会議（HPV併用検診の報告、骨密度DXA体験等）、健康管理担当者研修会（がん検診の今後、協会けんぽの事業等の取組み等の講演）
庄内	健康支援セミナー（市町村及び事業所担当者）（ストレッチ制度の講話、健診の意義とOP項目の講演他）
最上	市町村課長会議（腎臓病の講演）、市町村担当者会議（検診、精検受診率向上の意見交換）
米沢	置賜地区健康管理推進連絡協議会（6・10月研修）、事業所健診担当者研修会（3月研修）

- ・健康まつり等イベントの参画は、以下のとおり

山形	東根市健康まつり（健康相談・骨密度測定等）
庄内	庄内南部定住自立圈形成協定事業「がん講演会」（主催：鶴岡市・庄内町・三川町）（媒体展示等後援参画）
最上	新庄市・最上町・真室川町・大蔵村各健康まつり（がん検診啓発パンフ配布・フィルム等掲示・説明等） 山形県大腸がん検診受診促進キャンペーン（パンフ配布等）
米沢	米沢市衛生組合連合会万世支部の文化祭（広報媒体展示・講話等） 山形県大腸がん検診受診促進キャンペーン（パンフ配布等） 米沢市と合同街頭キャンペーンの実施（受診勧奨パンフ配布）

- ・出前講座は、各センター保健師・管理栄養士が山形28回・庄内7回・最上2回・米沢3回・南陽2回の合計42回、約1,300名参加実施。（前年度33回）

【評価と課題】

○達成

- ・研修会、各種健康まつり、出前講座を行うにあたり、相手方が何を求めているか十分に調査等し開催又は協力。

⑥ホームページの充実、強化

【実績】

- ・ホームページの充実・強化として、定期的な更新と内容を充実した。また、新たに検診ネット予約システムを稼働、閲覧数の多い健康レシピにサムネイルページを取り入れた。年間アクセスは15,100件、更新回数（健康情報）12回。

【評価と課題】

○達成

- ・情報の更新は適時に行われている。今後、アクセス方法等の統計情報ツールを分析し、興味ある内容の調査及びスマートフォンやタブレットからの閲覧数を注視しながら、ホームページの更なる充実策等を検討。
- ・ホームページを各種端末に対応できるよう再構築するか検討。

⑦その他

●広報教育媒体の貸出し

【実績】

- ・健康まつり、事業所、学校の健康教室等にパネル、DVD等の広報教育媒体の貸出しを16団体に行い、1780名の方々に御利用いただき、疾病予防や健康意識の向上等を啓発。

【評価と課題】

○達成

- ・必要とされる媒体の調査等を引き続き実施。
- ・ホームページ・SNS等を利用して、貸出について、広くPR。

●健康づくり支援

【実績】

- #### 「山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会」
- ・協議会事業に対して、150万円の助成と職員派遣等を支援。
 - ・7月理事会を開催、事業及び予算を審議。
 - ・11月幹部研修会（宮城県）に役員13名参加。
 - ・11月山婦協全体研修会（南陽市）で49名参加開催。
 - ・各地区的ブロック研修会を4回開催、結核撲滅及びがん征圧の普及啓発、婦人層の検診促進の研修等に、延べ約150名が参加。
 - ・8月に山形県健康福祉部長を訪問、複十字シール運動への協力を要請。

「山形まめの会」

- ・まめの会事業に対し、95万円の助成と職員派遣等を支援。
- ・5月役員会を開催、事業及び予算を審議。
- ・6月第33回全国よろこびの会総会に8名参加。
- ・7月第35回山形まめの会総会に62名参加開催。
- ・各支部単位の情報交換会を、年9回実施、延べ約70名が参加。

【評価と課題】

○達成

- ・山婦協及び各構成団体と更なる連携を図り、検診の受診勧奨等の啓発の協力体制を強化。
- ・まめの会会員数の減少傾向が続く中、今後の各活動内容を整理検討するとともに、今後のあり方を検討。

●本部等構成団体との連携

【実績】

「公益財団法人結核予防会」

- ・2月神奈川県で開催の第67回結核予防全国大会に参加、本部支部間等と情報を交換他、結核撲滅の強化対策の大会宣言を採択。
- ・結核予防週間ポスターを、関係機関へ配布し周知啓発。
- ・複十字誌（結核予防会発行）を、定期に関係機関等へ配布。

「公益財団法人日本対がん協会」

- ・9月群馬県で開催の平成27年度がん征圧全国大会に参加、本部支部間等と情報を交換。
- ・がん征圧月間ポスターを、関係機関等へ配布し周知啓発。
- ・対がん協会報（日本対がん協会発行）を、定期に関係機関等へ配布。

「東北・北海道ブロック会議」

- ・10月日本対がん協会ブロック会議（仙台市）
- ・10月結核予防会ブロック会議（福島市）
- ・11月東北6県検診機関による懇談会（秋田市）に参加し、東北各県の検診機関と情報を交換。

【評価と課題】

○達成

- ・本支部間の連携を深め、検診を取り巻く環境の変化等の情報をいち早くキャッチしできるよう情報共有に対する連携の強化。

●広報・啓発予算の確保

【実績】

- ・平成25年度予算額を下回る、8,747千円。

【評価と課題】

×未達成

- ・費用対効果等を勘案し、テレビ放映等を見送りしたことから、未達成となっている。引き続き、効果等を検証の上、経営状況を勘案し必要な額を確保。

施策 2

調査研究事業の推進

①検診・検査データの集計分析と実施主体が必要とするデータの提供

②外部研究機関等への研究事業協力

③各種学会等における職員の研究発表

【実績】

- ・事業年報を作成し、関係機関や実施主体に提供。ホームページにも掲載し、情報提供。
- ・1健康保険組合のデータヘルス計画の保健指導に協力。

【評価と課題】

△一部達成

- ・事業年報に関して、見やすい図表の検討に至らず、今後は類似団体の年報等を調査し、整理・検討。
- ・データの提供・活用が十分ではなく、今後、実施主体訪問又は渉外活動時等での積極的なPRを実施。

【実績】

- ・研究機関等への協力として、J-START、山形分子疫学コホート研究に対して実施協力。
また、検診・検査データを次のとおり提供。

提供先	内 容
山形県	がん検診成績や実施状況のデータ提供。 山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の基礎資料となる。
山形県医師会	各種検診・検査のデータ提供。山形県医師会主催の各種検診中央委員会の基礎資料となる。呼吸器検診および乳がん検診より発見されたがん患者のフィルム及びデータを提供。症例検討会時に活用。
日本対がん協会	がん検診成績及び追跡調査データ提供。 日本対がん協会の基礎資料となる。
日本乳癌検診学会	乳がん検診実態調査。同学会及びMMG精度管理中央委員会の全国実態把握の基礎資料となる。
日本消化器がん検診学会	消化器がん検診実態調査。同学会集計調査の基礎資料となる。

【評価と課題】

○達成

- ・今後とも、外部研究機関の要請に応じ対応。
- ・検診委員会の委員から指導いただき、独自の研究やデータ解析を検討。

【実績】

- ・職員による研究発表は、以下のとおり6題。

学会名	内容・発表者
日本消化器がん検診学会東北地方会(7月)	「デジタル画像読影の精度管理について」 山形検診センター 診療放射線技師
日本消化器がん検診学会東北地方会(7月)	胃がん症例提示及び説明 庄内検診センター 診療放射線技師
日本消化器がん検診学会東北支部研修会(2月)	胃がん症例提示及び説明 庄内検診センター 診療放射線技師
東北地区集検放射線技術部会研修会(2月)	「胃がん検診における安全管理について」 最上検診センター 診療放射線技師
日本消化器がん検診学会東北支部超音波研修委員会東北セミナー(3月)	「腹部超音波検診判定マニュアル カテゴリー分類(変法)について」 米沢検診センター 臨床検査技師
日本臨床細胞学会秋期大会(11月)	「当施設における子宮頸部細胞診ベセスダシステム導入の現状とASC判定症例の検討」 山形検診センター 細胞検査士

【評価と課題】

○達成

- ・今後とも、年間5題以上の発表を継続。

■ 施策 3

検診受診率と精密検査受診率の向上

①検診申込者への事前連絡と検診未受診者への受診勧奨強化

【実績】

- ・9市町村から世帯調査票の集計を受託し、正確な受診者数の把握と申込者への未検対策、調査票未提出者のリストを提供。未申込者の理由を明確にすべく、一町と協議し調査票の見直しを実施。
- ・事業所等に対する勧奨を強化したところ、訪問では2社27名、電話等では396事業所から新規受託。
- ・一部市町村と協議し、人間ドック申込者に事前連絡と未受診者への電話連絡を実施し、受診勧奨を実施。

	事業所への新規訪問件数	事前連絡による受診率
山形C	144社	85%
庄内C	10社	95%
最上C	79社(うち2社から受託)	86%
米沢C	90社	事前連絡実施なし
南陽C	20社	事前連絡実施なし
合 計	343社	88.7% (3センター平均)

【評価と課題】

△一部達成

- ・正確な対象者数の把握、未申込者の理由を明確にするため世帯調査票の見直しをさらに協議。
- ・新規事業所訪問と併せ、既存事業所の定期訪問によるフォロー実施と要望の聞き取り等計画的な涉外活動の推進。
- ・人間ドックの事前連絡と未受診者勧奨は、受託全市町村で実施働きかけ。

②特定保健指導の利用者拡大

【実績】

- ・利用者数の拡大を図るため、協会けんぽ等医療保険者へ周知、勧奨を実施し、新規に8社に対し指導実施。
- ・保健指導の実施率は、37.9%(H25)、41.4%(H26)と3.5%の増加。メタボリックシンдроームの減少率は、平成20年度と26年度を比べると、19.5%の減少が見られた。動機付け支援に比べ積極的支援による介入の方が、改善効果が優位という結果。
- ・中断者を出さないよう支援パターンの切替え等を行い、計画対比で34名増の2,619名の実績。

単位：名			
	当初計画数	実績	増減
山形C	980	997	17
庄内C	490	479	△ 11
最上C	640	675	35
米沢C	230	184	△ 46
南陽C	245	284	39
合 計	2,585	2,619	34

【評価と課題】

△一部達成

- ・事業所開拓のため、今後保健師等の訪問強化を計画。
- ・保健指導の評価・分析については、今後集団と併せ個人レベルでの改善効果等を更に詳しく集計・分析。
- ・当日支援の更なる推進と協会けんぽ加入事業所の新規受託の拡大、受診者が利用しやすい支援パターンの選択の設定等を検討。

③精密検査受診率向上対策の展開

【実績】

- ・要精検者台帳や精検未受診者リスト等を整備、自治体へ適宜提供し、受診勧奨を強化・促進。
- ・自治体及び事業所等とデータ提供・情報交換等を図り、便潜血強陽性者や循環器至急連絡の体制を強化。
- ・事業所等の精検受診率向上を図るため、夜間個別電話を拡大実施。
- ・精検受診率が前年度を下回り、成績は以下のとおり。

平成26年度各種がん検診精検受診率(6月末確定値比較)

	H26	参考:H25
胃がん検診	81.8%	82.3%
大腸がん検診	73.4%	74.5%
子宮がん検診	80.7%	82.7%
乳がん検診	88.8%	88.3%
肺がん検診	86.6%	88.8%

※1 一般住民及び職域職員分

※2 平成27年度数値は、平成28年6月末確定予定。

【評価と課題】

×未達成

- ・精検受診率向上の対策検討が不十分。今後、課題整理のうえ更なる検討を実施。
- ・精検受診率が低い事業所等においては、今後個別受診勧奨を強化実施。

■ 施策 4

満足度と質の高い検診サービス等の提供

①受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実

②スムーズな検診と検診所要時間の短縮

③検診結果通知の迅速化

【実績】

- ・受診者からより多くの意見を聴取するため、アンケート調査を実施し、改善協議し、受診者ヘフィードバック。
 - ・休日検診、午後検診について、実績は伸びず検証分析など未達成。
 - ・ストレスチェック受託体制構築し、実施要綱実施手順書を作成。
- 6事業所314名を受託実施。（3月末実績）

【評価と課題】

△一部達成

- ・休日検診の必要性を検証するため、受診者アンケートを実施し、今後需要を調査。
- ・対策型検診と区別して、任意型検診である人間ドックの検査項目を充実させ、ニーズに応じた検診サービスメニューの検討。

【実績】

- ・誘導スタッフの配置と優先チェックリストの活用により、検診の流れを分散し、待ち時間を短縮。

【評価と課題】

△一部達成

- ・受診者の所要時間を定期的に調査し、検診種別の目標時間を設定。

【実績】

- ・一部の検診センターを除き、概ね3週間以内で結果通知を実施。
- ・冬期間は、全検診センターにおいて、原則2週間以内の結果通知を実施。
- ・山形検診センターでは、個人申込者の結果通知を通年、2週間で実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・読影体制の調整検討及び検体処理体制が課題であり、解消対策の協議が未実施。

④女性に優しい検診環境の整備

【実績】

- ・検診時の育児サービスについて、他検診機関の状況調査を実施したが、自治体との具体的な協議は未実施。
- ・子宮頸がんHPV併用検診パンフレット作成し、配布済み。
- ・女性医師確保のための情報収集を図ったが、進展なく未達成。

【評価と課題】

×未達成

- ・若年者の受診状況を自治体と協議し、今後受診拡大と併せ、育児サービスについても協議。
- ・女性医師確保に関し、継続して情報収集を継続実施。
- ・レディース検診において、医師も含めて女性のみの検診実施可能日の調整と事前周知。

⑤病院との役割分担の整理

【実績】

- ・CT検査に関し、読影体制、機器、コスト等の情報収集を行い、管理者会議で協議。
- ・精密検査実施機関との連携について、情報収集及び検討未実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・高度検査機能を担う病院との役割分担を整理し、読影体制、採算性、ニーズ、他検診機関の動向等を踏まえ、導入に向けた方向性の検討。
- ・医療機関との連携による精密検査のあり方についての検討。

⑥その他

【実績】

- ・接遇に関し、各検診センターの接遇指導者に研修会と会議を開催したほか機構全体の月間目標を作成し、組織全体での接遇意識を涵養。
- ・自治体・事業所への健康づくり施策への支援については、次のとおり。

事業所等へのデータ提供 (単位:社)	事後指導 (単位:名)	出前講座 (単位:回)
山形C	3	810
庄内C	3	104
最上C	3	156
米沢C	3	195
南陽C	3	301
合 計	15	1,566

【評価と課題】

○達成

- ・接遇に関し、各検診センターごとに行行動計画、目標を設定。
- ・自治体・事業所は何を求めているのかを把握し、データの提供等適切に支援を実施。

施策 5

検診の精度管理と事業評価

①精度管理の維持・向上と事業評価

【実績】

- ・検診委員会を開催し、各検診データを報告、評価指導を受けるとともに、課題・懸案事項について協議し、精度を維持、向上。
各委員会での主な内容は、次のとおり。

委員会名	内 容
循環器等検診委員会 人間ドック委員会	骨密度測定DXA法・non-HDL・推定食塩摂取量の導入検討。
消化器検診委員会	回報書にピロリ菌除菌情報が追記変更。 職域における大腸がん精検受診率向上対策。
呼吸器検診委員会	肺年齢を活用したCOPDスクリーニングと判定基準。
子宮がん検診委員会	若年者の受診拡大と精検受診率向上対策。施設入所者の併用検診の推奨に関する協議。
乳がん検診委員会	がん検診の指針改正等に伴い、県の実施要項の内容を原則とし対応。
超音波検査委員会	判定区分D2継続医療の取扱い。「要再検査」に所見とコメント付加。

- ・学会、研修会等に職員を派遣し、専門技術職のスキルアップとともに、資格取得等を促進。
- ・外部機関の精度管理評価では、全センターとも良好な評価を得たが、最上位の評価には未達。

②読影体制強化

【実績】

- ・読影医師の確保について、医師会と連携して継続して情報収集実施。
- ・読影医師の確保が困難な検診センターについて高速ネットワーク通信を活用した読影体制を調査・検討・予算措置。

【評価と課題】

△一部達成

- ・読影医師について、引続き情報収集を実施。

③リスクマネジメント体制強化

【実績】

- ・2ヶ月に1度のリスクマネジメント委員会の開催。
- ・リスクマネジメント委員会の内容を受け、各検診センターで強化対策実施。
- ・ミス、トラブルに係る情報を共有フォルダに迅速に掲示し、再発防止を喚起。
- ・ミス、トラブル件数は、前年度より7件増の84件。特に、採血トラブルが増加。

【評価と課題】

△一部達成

- ・職員の意識改革の徹底が必要だが、その抜本的対策案なく、今後も機会を捉えて研修等実施。
- ・事故、トラブルの正確、かつ迅速な報告がなされるよう報告、連絡体制の再構築。
- ・誰が、どうしたか等がわかる報告書とするため様式を一部変更。
- ・事故、トラブル等の対応・対策の情報をいかに迅速に組織末端まで情報を行き届かせるかが、今後の重要な課題。

【評価と課題】

△一部達成

- ・検診委員会の委員改選時の体制見直し。
- ・各種がん検診の事業評価については、国の示す評価指標等と比較し、評価実施。
- ・外部機関による精度管理評価は、最上位の評価取得に目標設定。

施策 6

ICTの積極的な活用と新しい検査技術の導入

①医療情報ネットワークへの参加

【実績】

- ・庄内地域の医療情報ネットワーク(ちょうかいネット)参加のための、協議・各種手続き・機器の整備等を計画的に推進。平成28年4月から運用開始。

【評価と課題】

○達成

- ・閲覧履歴等個人情報保護対策の確実な実施が課題。

③新しい検査技術の導入

【実績】

- ・子宮頸がんHPV併用検診
2町2村から受託し、2,004名に実施。
- ・DXA法による骨密度検査
平成28年度から山形検診センター先行導入に備え、検査手法等を構築。
- ・乳房超音波検査
従事技師養成のための内部研修実施。
乳房超音波拡大検討委員会を立上げ、
現状分析と今後の方向性を検討。
- ・新しい検査技術の情報収集と検討
血管内皮機能検査に関する情報を収集。
COPDスクリーニング導入についての
意見収集。

④情報セキュリティ対策の強化と情報の公開

【実績】

- ・個人情報保護に係る内部監査実施し、指摘ある箇所は早急に改善し対処。
- ・個人情報保護に係る職員研修を実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・情報セキュリティ対策を周知するも、許可無USBの誤使用があり、今後、周知強化。

②基幹システムの更新

【実績】

- ・開発言語C#に係る研修受講。
- ・4年計画の1年目で100本のプログラム更新を計画したが、通常業務に追われ作業が遅延。

【評価と課題】

△一部達成

- ・子宮頸がんHPV併用検診の拡大。
- ・DXA法による骨密度検査の他センターへの拡大。
- ・乳房超音波検査技師養成のための機会拡大と読影医師の確保。
- ・対策型検診と区別して、任意型検診について、検査項目の充実を図るべく、受診者ニーズを踏まえて導入検討。

【評価と課題】

△一部達成

- ・遅延を取り戻すための計画の再調整と通常業務の見直し。

施策 7

計画的な検診機器等の整備更新

①X線機器の完全デジタル化への移行

②固定資産等の計画的な取得、更新

③検診車の効率的な配置

【実績】

- ・山形検診センター及び南陽検診センターにデジタル胃部呼吸器併用検診車を更新整備。
- ・米沢検診センターにデジタルマンモグラフィを更新整備。

【評価と課題】

○達成

- ・がん検診の指針改正による影響等状況を踏まえ、最上検診センターの胃がん検診車、呼吸器検診車のDR導入時期検討。

【実績】

- ・平成27年度固定資産整備計画に基づき、検診車や検査機器等整備。
- ・がん検診の指針改正等を踏まえ、財政状況等も勘案して、平成32年までの固定資産整備計画素案を作成。

【評価と課題】

○達成

- ・がん検診の指針改正及び財政状況等を勘案し、固定資産の長期使用化の推進。
- ・受診者ニーズに応えるべく、調査と意見聴取し、新規検査機器等の整備検討。

【実績】

- ・前年度の月別稼働日数、稼働率、平均受診人数等のデータを集約。
- ・がん検診の指針改正を受け、業務課長会議及び管理者会議等にて胃がん検診の減数を想定した配車計画素案を説明。

車両配置

単位：台

	山形C	庄内C	最上C	南陽C	合計
胃がん検診車	1		1		2
胃部呼吸器併用検診車	4	2		2	8
呼吸器検診車	1		1		2
子宮頸がん検診車	1				1
循環器健診車		1			1
循環器・超音波併用検診車	1	1			2

※平成28年3月31日現在

【評価と課題】

△一部達成

- ・胃がん検診に係る今後の実施主体動向を注視しながら、効率的な配車計画の策定を推進。

施策 8

安定的な収入確保対策

①受診者数等の数値目標の設定等

【実績】

- ・胃がん検診、結核検診、細胞診検査について、目標未達成であったが、大腸がん検診、乳がん検診、肺がん検診、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診が大きく増加。(参考資料参照)
- ・収益確保のため、未受診者対策の積極的実施。
- ・検診事業収入について、各検診センターに当初予算とは別に、業務課長会議で協議した前年度決算比1.7%増、総額5,500万円の目標増額を年度途中で提示。収入確保に努め、全検診センターで当初予算、前年度収入を上回る実績を確保。

前年度決算額との比較 単位：千円

	前年度決算	(目標増額)	最終決算	前年度決算比
山形C	1,050,388	(22,000)	1,069,292	1.8%
庄内C	798,434	(12,000)	810,262	1.5%
最上C	444,139	(5,000)	449,536	1.2%
米沢C	360,343	(8,000)	361,890	0.4%
南陽C	453,249	(8,000)	472,042	4.1%
合計	3,106,553	(55,000)	3,163,022	1.8%

※1受託料収入含む。

※2当初予算及び最終決算、比較増減は参考資料参照

- ・検診センターごとの課題整理と具体的対策について、独自戦略の参考とすべく、人口動態、疾病構造、受診率等のデータを収集。

【評価と課題】

○達成

- ・更なる受診者拡大に向けての取り組みを検討。
- ・検診センターごとの課題整理と具体的対策について、更に地域別データ収集とともに独自

②利用者数、受診者数の増加対策の推進

【実績】

- ・広報啓発活動や未受診者対策を推進し、各種検診の継続受診に努めたが、多くの検診センターで前年度を下回るリピート率。

リピート率比較

	H26	H27
山形C	74%	76%
庄内C	84%	81%
最上C	81%	78%
米沢C	80%	76%
南陽C	80%	79%
平均	79.8	78.0%

- ・平成27年度から山形検診センターで他センターに先行して、インターネットによる検診申込みを開始。
問い合わせ32件(他センター関連9件含む)
山形検診センター検診実績 17名
- ・閑散期の利用拡大対策として、12~3月に山形検診センターでイブニング検診として乳がん検診を実施。日中受診が難しい、働きざかり・子育て世代に焦点をあて企画・実施。
5回実施 受診者69名

【評価と課題】

×未達成

- ・各検診センターのリピート率向上が課題。
- ・インターネットでの申込利用状況を分析し、他検診センターへの拡大を検討。
- ・イブニング検診を平成28年4月から継続実施。

③積極的な渉外活動の推進

【実績】

- ・渉外担当者会議を年4回開催し、活動状況の報告や情報共有、次年度以降の渉外活動実施計画を策定。
 - ・スキルアップを図るべく、外部講師による渉外担当者研修会を開催。
 - ・渉外活動に先進的な取組のある施設を訪問し、参考となる情報を収集。
- 訪問先：公益財団法人栃木県保健衛生事業団
・新規事業所訪問は、150社を目標として取組み、343社を訪問、情報収集と受診勧奨を実施。

新規事業所訪問数

単位：社

	計画数	実績	増減
山形C	50	144	94
庄内C	10	10	0
最上C	40	79	39
米沢C	30	90	60
南陽C	20	20	0
合計	150	343	193

【評価と課題】

△一部達成

- ・渉外活動を始めて2年目となるが、未だ結果がでていない状況。
- ・HPV併用検診、ストレスチェック、DXA法による骨密度検査等新規項目の受診者数の拡大を図るべく渉外活動推進。
- ・協会けんぽ未受診勧奨リストを活用し、事業所訪問を計画的に推進。

④競争性を確保した公益法人としての適正な検診料金の在り方と競争入札に対する方針の検討

【実績】

- ・ストレスチェック、DXA法による骨密度検査、上山市宿泊型保健指導料金等を新たに設定。マンモグラフィが全検診センターでDR化に移行完了したことを受け、乳がん検診料金を一部改定。
- ・県内や東北各県の類似健診機関のがん検診等を中心とした検診料金を調査・情報収集。
- ・競争入札に係る手法等について、全国公益法人協会やインターネットを活用しての情報収集。
- ・冬期料金の設定検討に関して、各センター間で必要性に差があり、方向性の集約が未達成。

【評価と課題】

△一部達成

- ・原価計算方法の見直しと今後適正な料金の設定に向けた検討。
- ・収入の見通し把握には、月々の検診動向の確実な把握と、目標達成に向けた組織全体の意識づけが課題。
- ・冬期料金の継続検討と、閑散期だから実施可能な検診項目を検討・実施。
- ・競争入札に関する情報収集不足。入札制度に対応すべき課題を整理。

⑤維持会員、複十字募金等寄付金拡大

【実績】

- ・維持会員、複十字募金等寄付金拡大に向けた勧奨チラシを作成し、新規取引業者に依頼。
 - ・維持会員募金は、新規募金5件(法人)があつたものの目標額3,796,000円に対し、3,424,708円で及ばず未達成。
 - ・複十字シール募金645,000円の目標に対し、472,653円。山婦協3団体に募金箱を設置いただいたほか研修会等での募金協力に注力したが、目標額及び昨年度実績を下回り、未達成。
- 8月7日 山形県知事を表敬訪問し、応対した健康福祉部長に複十字シール運動の趣旨、活動内容等をPR、協力を要請。

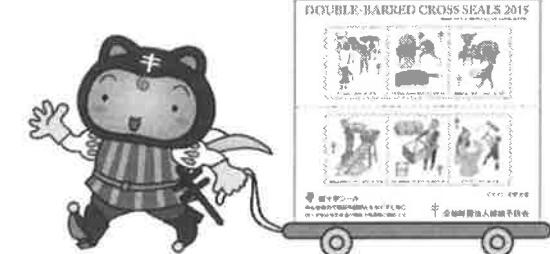
【評価と課題】

×未達成

- ・地区婦人会員数の減少と相俟って、複十字募金額が減少。各検診センターに募金窓口を設置し、募金協力の継続的な呼びかけ実施。
- ・募金依頼だけでなく、運動自体の周知も重要と認識し、活動実施。
- ・各検診センターごとに募金協力件数、募金額を具体的に設定しての活動推進。



山婦協3団体と健康福祉部長



シールぼうや

施策 9

効率的な業務の執行

①効率性の高い検診の確保

【実績】

- ・職員提案制度では、職員から34件の応募があり、内8件を採択。提案者と担当課が連携し具現化に向け作業開始。
- ・各検診センター間と部門間の応援体制については、全センター間でスタッフ調整し専門職間の応援を実施したが、分析、課題の整理、ルールの策定とも未実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・管理者会議においては、山形検診センター以外からの提案議題がほとんどないことが課題。
- ・検診センター内のミーティングは、職員間の勤務時間や雇用形態の違いから定期開催が難しく、組織内の情報共有が図られない状況。意図的に会議や打合わせ等の機会を増やすことなどいかに組織末端まで情報を届かせるかが、今後の重要課題。

【評価と課題】

△一部達成

- ・職員提案制度に関し、各検診センターによっては条件や基準等理解統一されていない部分があるため、選考が難航。今後、制度の検証と見直しを検討・実施。
- ・応援体制については、山形及び庄内検診センターを核に協力体制を検討・整備。
- ・職種間での柔軟な応援体制の確立。

②組織間の情報伝達と情報共有

【実績】

- ・重要案件の協議、報告事項、情報共有等を行うため、管理者会議を月2回開催。
- ・各検診センター内、課係内、チーム内等の協議、情報共有等を図るため、多様なミーティングを定期的に開催する計画であったが、必要に応じての開催に留まり、一部未達成。

③経費節減に向けた取組みの強化対応

【実績】

- ・コスト節減意識の定着化に向けた運動では、方針を作成・通知し、各検診センターで具体的な数値目標を設定し実施。

電気使用の節電状況				
	前年度実績	本年度目標	本年度実績	目標値との比較
山形C	573,393	550,100	550,327	227
庄内C	373,376	354,700	365,089	10,389
最上C	102,718	99,636	102,882	3,246
米沢C	126,464	126,000	120,279	△ 5,721
南陽C	152,961	152,900	153,328	428
合 計	1,328,912	1,283,336	1,291,905	8,569

- ・公益法人としての適正な契約(調達)制度について、検診に係る消耗品、材料費の情報収集を行い、契約単価の一部見直しを実施。
- ・業務の外部委託に関し、費用対効果等による分析を行い、委託業務の選定を継続して実施。本年度は、山形検診センターの除雪作業を委託。

【評価と課題】

△一部達成

- ・コスト削減に関し、各検診センターで設定する数値目標等を精査し、その対策をいかに職員に周知・浸透していくかが課題。
- ・公益法人としての適正な契約(調達)について全国公益法人協会やインターネット等で情報収集を継続し、適正な制度の確立を検討。
- ・業務の外部委託は、今後も検討委員会で業務内容の分析、検討を行い、経費節減に向けた方策等を検討。

④財務関係の目標値の設定

【実績】

- ・がん検診指針改定に伴う影響度、収支シミュレーション等を示し、危機意識の高揚を図るべく全検診センター職員に対し説明会を実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・新年度事業計画及び予算に係る課題整理のため会議を立ち上げ、主たる事業の方向性を整理。今後一層厳しさが増す財務状況への対応と健全経営の推進は、最重要課題。

■施策 10

変化に対応できる柔軟な組織づくりと人材育成

①組織見直しと職員数の管理

②医師・専門技術職の確保対策の推進

③嘱託職員の在り方検討

【実績】

- ・組織のH28に向けた見直しは、以下のとおり
(1) 新たに研究監の職制を設け、調査研究機能を強化。
(2) 組織の簡素合理化を図るため部制を廃止、業務名を冠する専門員等の職制見直し。
(3) 各検診センター業務課の事務分掌に涉外業務を追加、山形検診センターに事業調整涉外係を設置。
(4) 定年退職後の再雇用者に職制を新設。
・5つの検診センターの今後の在り方検討は、各センターの課題を集約。
・人員管理計画の策定は、調査・検討を行い、平成28、29年度の2ヶ年分の採用方向性を整理。
・各検診センター人員の適正配置は、平成28年度の嘱託職員体制を含め、人件費抑制を基本に、各検診センターの業務量に応じた人員配置を検討。

【評価と課題】

△一部達成

- ・新たに、がん検診の指針改定に伴う職員数の課題が生じたことから、今後の人員計画を、早期に策定。
- ・人口減少に伴う受診者数の減、老朽化する施設等を踏まえ、今後の検診センターの在り方を検討整理する。特に、最上検診センターについては、管轄区域の在り方も含めて、全体的な検討を開始。

【実績】

- ・機構医師の専門ごとの適切な配置の在り方検討は、確保急務となっている婦人科検診医師の確保はできなかつたが、消化器専門医師1名を確保。
・婦人科検診における女性医師等の確保推進は、山形大学、医師会等の協力を得ながら引き続き情報を収集。
・専門技術職の確保対策の推進は、採用パンフレットを作成、各学校に送付及び各所属に設置、ホームページに通年掲示。
・主要大学・専門学校14学校に、昨年から定期に訪問強化を行い、職員募集等を、7月募集・8月試験・結果通知を早期に実施し専門技術職を確保。

【評価と課題】

△一部達成

- ・婦人科検診医師の確保が困難な状況であり、継続し情報を収集。
・専門技術職の確保対策は、大学・専門学校担当との関係を如何に継続していくかが課題。また、採用募集の早期実施と受験希望者と接する機会を多く捉えた採用方法を早期に実施。

【実績】

- ・検討委員会を2回開催し、嘱託職員の再雇用限度の延長、長期の安定した雇用を確保し、優秀な人材を確保するため、人事評価導入等を整理実施。

【評価と課題】

△一部達成

- ・嘱託職員の経験年数を勘案した給与体系、日々雇用職員の給与の見直し等を検討し、専門技術職員の確保。

④公益法人としての適切な給与制度の検討

【実績】

- ・類似団体、市町村等の状況の調査。
- ・検診事業収入等に占める適切な人件費率調査。

【評価と課題】

✗未達成

- ・何が課題かを再度整理する必要があり、再度県内自治体や類似法人の給与体系と比較、わたり制度の見直し等、今後課題を打ち出し検討。
- ・がん検診の指針改定の影響に伴う巨額の収入減が想定されることから、人件費の見直しへ避けて通れない問題となっている。日々雇用職員、嘱託職員も含めた人員の削減、給与・福利厚生の見直し等について、総合的な検討が待ったなしとなっている。早期の着手検討が必要。

⑤計画的な人材の育成

【実績】

- ・人材育成に関する類似団体の情報を収集・調査。
- ・外部委託派遣研修（学会等含む）の維持拡大は、年81箇所述べ158名を派遣。
- ・独自研修の企画、充実強化は、渉外担当者研修会、ハラスメント相談員研修・接遇指導者研修・考課者研修・職員全体研修会（リスクマネジメント、ハラスメント講義等）を実施。
- ・職員提案制度に職員の自発的な勉強会の制度を、盛り込み2提案を採択。
- ・全職員が対象となる職員考課制度は3年目となり、目標設定・目標進捗支援・考課評定及び面談実施。10月の導入検討委員会は、外部講師と現制度の現状の課題共有と解決策を検討。
- ・管理職の企画力・マネジメント能力向上等は、受入企業の情報を収集。

【評価と課題】

△一部達成

- ・人材育成方針の策定は、他団体の調査に留まり、調査後の検討分析等が必要。
- ・職員の外部委託研修は、派遣する研修を精査し必要性・効果を検討。独自研修の企画は、今後見込まれる収入減に鑑み、当面、必要最低限を検討。
- ・職員考課制度は、今後の方向性を整理及び考課者の考課スキルと推進意識の向上が必要。

⑥働きやすい職場づくり

【実績】

- ・仕事と家庭の両立の支援推進は、時間外勤務縮減・年休取得促進・ハラスメント対策を「働きやすい職場づくりとコスト削減に向けた取組み」方針に組入れて通知、各所属で具体的目標数値等を明確にし5月より実施。
- ・女性管理者登用拡大は、昨年に引き続き人事にて、女性登用を意識し職員配置。
- ・セクハラ、パワハラ対策の推進は、ハラスメント研修を、全体と担当者向けに年2回実施。

時間外勤務時間の緊縮状況

単位：時間

	前年度実績	本年度目標	本年度実績	目標値との比較
山形C	9,013	7,782	6,526	△ 1,256
庄内C	3,945	3,634	3,311	△ 323
最上C	3,179	3,000	1,829	△ 1,171
米沢C	2,524	2,100	2,534	434
南陽C	3,506	2,900	2,604	△ 296
合 計	22,167	19,416	16,804	△ 2,612

【評価と課題】

○達成

- ・時間外緊縮等は目標時間を大幅に下回り、前年度実績に対し24%減の緊縮を達成するも、年休取得促進は目標値に及ばなかった。無理なく取れる時期、取得しやすい環境を作り、声掛けを適時行うことが必要。

(参考資料)

各種検診・受託事務の実績人員

(単位:人)

検診・検査項目		平成27年度		増減	山形検診センター		庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
		目標	実績		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
特定健診	特定期間	53,980	54,384	404	18,190	18,480	16,700	16,720	5,060	4,952	4,280	4,194	9,750	10,038
特定保健指導	定期	2,585	2,619	34	980	997	490	479	640	675	230	184	245	284
生活機能評価	定期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃がん検診	(単+ド+全)	52,535	51,247	△ 1,288	20,610	19,852	12,990	12,929	4,100	3,773	6,090	5,794	8,745	8,899
		104,375	103,193	△ 1,182	35,375	34,100	26,260	26,502	14,600	14,057	12,000	11,941	16,140	16,593
大腸がん検診	(単+ド+全)	65,445	67,172	1,727	24,700	25,040	16,990	17,458	4,850	5,232	7,280	6,972	11,625	12,470
		125,060	128,621	3,561	41,950	42,518	32,700	33,785	16,520	16,944	14,025	14,065	19,865	21,309
子宮頸がん検診	(単+ド+全)	18,980	19,799	819	5,380	5,464	4,030	4,422	2,780	2,846	2,515	2,542	4,275	4,525
		38,430	39,205	775	12,570	12,396	8,700	9,118	6,230	6,400	4,405	4,466	6,525	6,825
乳がん検診	併用	16,360	17,460	1,100	3,760	4,270	2,990	3,183	2,910	2,862	2,380	2,474	4,320	4,671
	(単+ド+全)	35,205	36,353	1,148	11,405	11,783	6,440	6,704	6,950	6,897	3,840	3,911	6,570	7,058
	視・触診	1,165	1,311	146	0	18	660	646	220	361	50	28	235	258
	(単+ド)	1,205	1,377	172	0	30	680	662	230	389	60	31	235	265
	乳房超音波	0	59	59	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器検査器	個別(X線)	55	53	△ 2	0	0	10	8	0	0	10	6	35	39
	X線	50,170	53,595	3,425	19,065	19,370	15,510	15,784	5,500	5,358	3,660	3,575	6,435	9,508
	(単+ド)	84,335	87,655	3,320	31,555	31,661	23,980	24,328	13,130	12,778	5,670	5,574	10,000	13,314
	喀痰	2,635	2,304	△ 331	1,180	1,039	350	334	480	267	240	240	385	424
	(単+ド)	3,480	3,096	△ 384	1,395	1,243	500	446	910	665	260	256	415	486
	結核検診	X線	32,705	29,189	△ 3,516	15,620	15,793	4,530	4,213	3,570	3,554	2,765	2,826	6,220
	(単+定+ド+全)	115,080	113,700	△ 1,380	41,565	42,716	24,780	25,186	13,520	13,826	17,010	16,904	18,205	15,068
	人間ドック	35,495	35,565	70	12,870	12,721	8,950	9,005	7,890	7,737	2,145	2,218	3,640	3,884
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診		26,905	28,637	1,732	5,300	5,537	7,350	7,976	4,240	4,532	5,000	5,231	5,015	5,361
腹部超音波検査	(単+全)	32,230	33,251	1,021	11,570	11,717	7,040	6,981	5,640	5,834	3,650	3,964	4,330	4,755
		32,920	34,047	1,127	11,695	11,900	7,200	7,189	5,800	5,997	3,760	4,072	4,465	4,889
一般検査	定期	54,745	54,660	△ 85	20,125	20,160	12,890	13,004	5,910	5,813	8,560	8,449	7,260	7,234
	A健診	16,280	15,649	△ 631	8,055	7,787	3,180	3,021	950	994	3,030	2,850	1,065	997
	B健診	503,496	507,340	3,844	200,180	206,372	114,460	112,087	46,200	48,959	82,500	81,743	60,156	58,179
学校検診(延べ件)		55,475	55,568	93	4,350	4,776	21,100	20,665	7,200	7,160	18,685	18,851	4,140	4,116
細胞診検査(件)		9,280	8,368	△ 912	9,280	8,368	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺がん検診		22,305	22,955	650	6,790	6,962	8,510	8,558	2,580	2,691	1,430	1,533	2,995	3,211
骨密度測定		19,000	19,035	35	4,500	4,578	7,090	6,872	2,350	2,386	1,980	1,913	3,080	3,286
肝炎ウイルス検診		6,510	6,390	△ 120	1,500	1,339	1,500	1,603	1,410	1,385	810	566	1,290	1,497
受付問診等	人	4,491	4,795	304	2,925	3,018	704	940	309	283	65	54	488	500
結果送付	件	86,235	89,910	3,675	36,770	39,319	25,070	27,871	11,670	12,130	4,060	1,038	8,665	9,552
料金徴収	件	27,277	26,777	△ 500	8,250	8,032	9,237	9,318	3,290	2,669	0	0	6,500	6,758

(注1) 単=単独検診 定=定期健康診断 ド=人間ドック 全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

(注3) 網掛けは目標未達成

(参考資料)

各種検診事業の収入実績

(単位:千円)

検診・検査項目	平成27年度		増減	山形検診センター		庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
	目標	実績		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
特定健診検査	376,244	379,469	3,225	126,580	128,761	117,905	117,892	35,718	35,025	29,900	29,530	66,141	68,261
特定保健指導	28,131	28,505	374	11,060	11,569	5,434	5,188	6,112	5,833	2,579	2,398	2,946	3,517
生活機能評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃がん検診	243,870	238,547	△ 5,323	95,466	92,298	60,877	60,615	18,923	17,631	28,639	27,298	39,965	40,705
大腸がん検診	104,712	107,498	2,786	39,520	40,086	27,184	27,932	7,760	8,371	11,648	11,156	18,600	19,953
子宮頸がん検診	78,110	81,373	3,263	22,720	23,158	16,120	17,688	12,110	12,263	10,060	10,168	17,100	18,096
乳がん検診	74,019	79,927	5,908	16,770	19,375	14,646	15,622	13,100	13,326	10,146	10,495	19,357	21,109
呼吸器検診	89,066	89,981	915	36,376	36,549	22,008	22,138	10,329	9,639	7,028	7,230	13,325	14,425
人間ドック	762,909	759,488	△ 3,421	285,512	280,643	182,702	182,587	171,417	167,370	45,072	46,107	78,206	82,781
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診	437,310	468,458	31,148	85,997	90,813	119,283	129,679	67,595	72,562	84,122	88,313	80,313	87,091
腹部超音波検査	128,920	133,004	4,084	46,280	46,868	28,160	27,924	22,560	23,336	14,600	15,856	17,320	19,020
一般検査	631,303	631,595	292	239,130	245,235	157,701	153,871	61,542	63,215	97,211	95,545	75,719	73,729
学校検診	31,254	31,354	100	2,544	3,041	10,393	10,148	5,253	5,188	9,021	8,990	4,043	3,987
細胞診検査	10,393	9,372	△ 1,021	10,393	9,372	0	0	0	0	0	0	0	0
前立腺がん検診	49,071	50,508	1,437	14,938	15,325	18,722	18,827	5,676	5,920	3,146	3,372	6,589	7,064
骨密度測定	15,200	15,241	41	3,600	3,670	5,672	5,497	1,880	1,908	1,584	1,538	2,464	2,628
肝炎ウイルス検診	18,758	18,414	△ 344	4,319	3,855	4,332	4,634	4,077	4,005	2,321	1,619	3,709	4,301
受託料収入	37,529	40,288	2,759	15,725	18,674	9,734	10,020	4,364	3,944	2,678	2,275	5,028	5,375
合計	3,116,799	3,163,022	46,223	1,056,930	1,069,292	800,873	810,262	448,416	449,536	359,755	361,890	450,825	472,042

(注1) 千円未満切り捨て

(注2) 網掛けは目標未達成

III 法人運営等

1 評議員会

開催日	会議名	議題事項
平成 27 年 6 月 23 日	第 1 回(定時)評議員会	「平成 26 年度事業報告」の件 「第 1 次中期運営計画実績評価」報告の件 「平成 26 年度貸借対照表並びに 正味財産増減計算書及び財産目録等」承認の件 「公益財団法人やまがた健康推進機構定款の 一部を改正する定款」承認の件 ※出席評議員 7 名、出席理事 5 名、出席監事 2 名
平成 27 年 12 月 21 日	第 2 回(臨時)評議員会	「評議員の辞任に伴う後任者の選任」の件 ※評議員全員の書面同意決議
平成 28 年 3 月 25 日	第 3 回(臨時)評議員会	「理事の選任」の件 「内部通報制度運用規程に係る外部窓口」の件 ※評議員全員の書面同意決議

2 理事会

開催日	会議名	議題事項
平成 27 年 6 月 9 日	第 1 回(通常)理事会	<p>「平成 26 年度事業報告及び附属明細書」承認の件 「第 1 次中期運営計画実績評価」報告の件 「平成 26 年度決算財務諸表及び財産目録」承認の件 「平成 26 年度資金収支計算書」承認の件 「平成 26 年度その他必要とされる書類」報告の件 「資産取得資金取扱規程の制定」承認の件 「最上検診センター建替に係る 積立資金の設置」承認の件 「会計処理規程の一部改正」承認の件 「評議員の辞任に伴う候補者」の件 「理事の辞任に伴う候補者」の件 「公益財団法人やまがた健康推進機構定款の 一部を改正する定款の案」承認の件</p> <p>※出席理事 9 名、出席監事 1 名</p>
平成 27 年 8 月 24 日	第 2 回(臨時)理事会	<p>「平成 27 年度資金収支補正予算」承認の件 「退職年金金銭信託解約金」の一部の資金繰りへの使用承認（事後承認）の件 ※理事全員の書面同意決議</p>
平成 27 年 10 月 16 日	第 3 回(臨時)理事会	<p>一般社団法人山形県医師会との読影料に関する「委託契約書」変更契約締結承認の件 ※理事全員の書面同意決議</p>
平成 27 年 11 月 19 日	第 4 回(臨時)理事会	<p>「ストレスチェックの料金設定」承認の件 「一般社団法人南陽市東置賜郡医師会との読影料に関する委託契約書の変更契約締結」承認の件 ※理事全員の書面同意決議</p>

開催日	会議名	議題事項	
平成 27 年 12 月 11 日	第 5 回(臨時)理事会	「平成 27 年度事業進捗状況」報告の件 「平成 27 年度資金収支中間決算見込」報告の件 「平成 27 年度資金収支補正予算」承認の件 「平成 28 年度検診・検査料金」承認の件 「就業規則の一部改正」承認の件	「給与規程の一部改正」承認の件 「第 2 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 「その他の事項」報告の件 「業務執行状況」報告の件
		※出席理事 9 名、出席監事 1 名	
平成 28 年 2 月 9 日	第 6 回(臨時)理事会	「骨密度測定（DXA 法）の受託及び料金設定」承認の件 「電離放射線健康診断（眼底検査）の受託及び料金設定」承認の件 ※理事全員の書面同意決議	
平成 28 年 3 月 14 日	第 7 回(通常)理事会	「平成 27 年度最終決算見込み」報告の件 「平成 27 年度資金収支補正予算」承認の件 「会計処理規程の一部を改正する規程」承認の件 「特定資産目的外取崩し」承認の件 「特定資産取扱規程」承認の件 「平成 28 年度事業実施計画」承認の件 「平成 28 年度収支予算」承認の件 「平成 28 年度資金収支予算」承認の件 「組織規程の一部を改正する規程」承認の件 「給与規程の一部を改正する規程」承認の件	「嘱託医師採用等に関する要綱の一部を改正する要綱」承認の件 「内部通報制度運用規程」承認の件 「山形大学からの医師の採用」報告の件 「臨時評議員会の決議の省略」承認の件 「平成 28 年度理事の取引」承認の件 「平成 27 年度やまがた健康推進機構労働組合との話し合いの経過」報告の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定の締結」承認の件 「業務執行状況」報告の件
		※出席理事 9 名、出席監事 2 名	
平成 28 年 3 月 31 日	第 8 回(臨時)理事会	「急施を要する場合の検診・検査料金の取扱いについて」承認の件 ※理事全員の書面同意決議	

3 役員等に関する事項 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

評議員 9 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評議員	石川 仁	H26. 6. 27	平成 28 年開催の定時評議 員会終結の時まで	
〃	大内 清則	H24. 6. 29		
〃	国井 富彦	H27. 6. 23		
〃	後藤 敏和	H25. 6. 27		
〃	今田 裕幸	H27. 12. 21		
〃	佐藤 浩之	H27. 6. 23		
〃	富田 博	H24. 6. 29		
〃	中條 明夫	H24. 6. 29		
〃	松田 一彦	H26. 6. 27		

理事 10 名・監事 2 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理事長	徳永 正鞠	H26. 6. 27	平成 28 年開催の定時評議 員会終結の時まで	代表理事
副理事長	齋藤 幹郎	H26. 6. 27		業務執行理事
副理事長兼専務理事	土海 安雄	H26. 6. 27		業務執行理事
常任理事	菊地 悠	H26. 6. 27		業務執行理事
理 事	上野 俊幸	H27. 6. 23		
〃	栗谷 義樹	H26. 6. 27		
〃	後藤 利昭	H26. 6. 27		
〃	高橋 秀昭	H26. 6. 27		
〃	山科 昭雄	H26. 6. 27		
〃	横山 紘一	H26. 6. 27		
監 事	奥山 享	H26. 6. 27		
〃	粕谷 真生	H26. 6. 27		

顧問2名

五十音順

役名	氏名	就任年月日	備考
顧問	岸 陽一	H24. 6. 15	
//	有海 躬行	H26. 6. 27	

平成27年度内に退任された評議員

五十音順

退任時の役名	氏名	退任年月日	就任年月日	備考
評議員	長沼 良治	H27. 12. 1	H24. 6. 29	
//	沼沢 弘幸	H27. 6. 23	H26. 6. 27	
//	山本 和春	H27. 6. 23	H26. 6. 23	

平成27年度内に退任された理事

五十音順

退任時の役名	氏名	退任年月日	就任年月日	備考
理事	佐藤 徳彦	H27. 6. 23	H26. 6. 27	

4 職員に関する事項（平成28年3月31日現在）

所属管理者（所長及び副所長）

所属	職名	氏名	職名	氏名
山形検診センター	所長	菊地 悅	副所長	上野 俊幸
庄内検診センター	所長	栗谷 義樹	副所長	佐藤 徳彦
最上検診センター	所長	山科 昭雄	副所長	本間 隆宏
米沢検診センター	所長	高橋 秀昭	副所長	高橋 清一
南陽検診センター	所長	後藤 利昭	副所長	荒井 信行

5 職種別職員数 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

職種	事務(員)職	業務(員)職	医師	診療放射線技師	保健師	看護師	臨床検査技師	管理栄養士	細胞検査士	合計
正規職員	78人	1人	—	27人	9人	36人	29人	5人	3人	188人
	△1人	△1人	—	+1人	0人	△1人	△1人	0人	0人	△3人
機構医師 再雇用職員 嘱託職員	77人	9人	11人	7人	3人	25人	9人	1人	—	142人
	+3人	0人	0人	△1人	△1人	0人	0人	+1人	—	+2人
	155人	10人	11人	34人	12人	61人	38人	6人	3人	330人
合計	+2人	△1人	0人	0人	△1人	△1人	△1人	+1人	0人	△1人

※役員（専務理事、医療監）及び 5 所属所長（山形、庄内、最上、米沢、南陽）の 7 名を除き集計。

※医療技術職の管理職 4 名は事務職に集計。

※上段は平成 28 年 3 月 31 日の人数、下段は対前年度（中途退職者 2 名含む）との増減人数を記載。

6 附属明細書

当該事業結果報告をもって、事業報告附属明細書を省略します。